

## 平成27年度 部局長マネジメント方針

もり かつみ  
上下水道局経営企画室長 森 克巳



### 仕事に対する基本姿勢

水道・下水道事業は「地方公営企業」として、経営にあたっては「公共性」と「経済性」の2つの原則のもとで取り組んでいます。ただ、この2つの原則は時代によって重点を置くものが変わるのも現実です。例えば右肩上がりの経済成長を背景とした場合、「経済性」よりも施設整備の推進や市民生活の質的向上などの「公共性」が重視されますし、低成長の状況下では、効率経営に代表される「経済性」がより強く求められることになります。

水道や下水道はサービスを提供の対価として料金等をお客様からいただくことから、サービスと対価が一對の関係にあります。安心、安全な上下水道サービスを安定、持続的にお届けするため、「公共性」「経済性」の両面から「なぜそれが必要であって」「それがどういう効果（公共性・経済性）を生むのか」について、「わかりやすく、ていねいに」説明していくことが大切であると考えています。

### 平成26年度の振り返り

現在、上下水道局は水道部門が若江西新町の水道庁舎、下水道部門が荒本の本庁舎に分散しています。また、上下水道は、災害時に市民の皆さんの生命と生活を守るライフラインとして重要な役割がありますが、災害対応や復旧の拠点となる水道庁舎は耐震性が低いうえに老朽化しています。

この対策として平成26年度には、新たに本庁舎西側に上下水道庁舎の建設を進めるべく、新庁舎に求められる機能や役割、立地や規模、建設費用と財源、スケジュールなどについて基本的な考え方をまとめました。

平成27年には、基本計画等に基づく設計業務に着手し、平成27年度には庁舎整備をさらに具体化していきますが、近年の建設コストの上昇など、庁舎や水道施設等の整備をめぐる経済情勢は大きく変化していますので、これらの変化を適切に見込むとともに、かつ将来世代にも過度な負担とならない取り組みが必要と考えています。

## 1 上下水道庁舎の建設に向けて取り組みます

上下水道庁舎は日々の上下水道サービスをお届けする拠点や、上下水道に関係する業務を能率的・合理的に運営する拠点であると同時に、万一災害が起こったときには、応急給水活動や、水道、下水道の復旧作業の本部となるなど、ライフラインを担う拠点となる建物です。

上下水道局では、庁舎の建設に向けて具体的に設計や工事に着手し、より便利、より経済的、より安心な上下水道サービスを、一日も早く市民の皆様に提供できるよう取り組みます。

## 2 新5か年計画（水道事業中期実施計画（第3期））を策定します

現水道事業中期実施計画（第2期）の最終年度にあたる平成27年度は、次なる計画の策定年度でもあります。

人口の減少、景気の動向など、上下水道の経営を取り巻く環境は、厳しくなっていく傾向にあります。将来の水量を推計し料金収入を適切に見込んだうえで、今後の耐震化や維持管理、経営・財政の見込みなどを示した、新5か年計画（水道事業中期実施計画（第3期）／計画期間：平成28～32年度）として策定します。

策定にあたっては、市民共通の資産である上下水道施設（管や配水池、ポンプ場）のアセットマネジメント（資産管理）の考え方などを取り入れ、メンテナンスや料金見直しなどを適切な時期に行うなど、持続可能な事業計画としていきます。

### 水道事業中期実施計画の構成

